

◆◆◆◆◆  
佐渡山 明 議員  
◆◆◆◆◆



墓地整備について問う

**質** 恩納村では、平成18年将来の墓地需要として、平成27年までに189か所、37年まで363か所が必要と報告されています。平成18年から整備された墓地団地区画数を伺います。

**答** 村民課長 當山秀幸

26年までの区画数は110区画。27年度の予定は34区画です。

**質** 今の答弁によりますと10年間の墓地需要189か所に対し、不足分が45か所で、達成率は76%です。早めに整備を進めていただきたいと思えます。墓地整備に対し、村民課長は斎場周辺の埋立てを見ながら図っているのか、

きたいと答弁されています。現在、埋立ては完了しています。今後の計画はどうなっていますか。

**答** 企画課長 山城雅人

村全体の計画として、斎場周辺は墓地を中止とした整備を実施していただければと考えています。

**質** 墓地整備基本計画で村民にアンケートを取っています。回収した約4割の580世帯がお墓を求めています。墓地整備は遅れています。どのような形で墓地整備を進めますか。

**答** 村民課長 長浜善巳

4割世帯がお墓を必要であれば、区や住民の意見を聴きながら検討します。

納骨堂整備について問う

**質** 恩納村では納骨堂の計画は御座いますか。

**答** 村民課長 當山秀幸

平成28年度に斎場周辺の墓地整備計画を作成し、可否の判断をしたいと思えます。

**質** 私は公営の合葬式、村民共同墓を早めに検討して頂きたいと思えます。近年、少子高齢化や核家族化、未婚者などのライフスタイルの多様化、跡取り問題等による無縁墓や空墓が景観に支障をきたしています。よって、各自自治体で合葬式施設が建設されはじめました。県内においては那覇市が一括交付金を活用し完成させ、多くの市民が恩恵を受けています。村民共同墓が必要と思われませんか。

**答** 村民課長 長浜善巳

28年度斎場周辺の整備計画を作成し、進めたいと思っています。

**質** 実は、合葬式には多くのメリットがあります。それは、無縁墓地が発生しない、お墓の維持管理が不要、格安で利用できる。また、お墓を継ぐ人・継承者が不要、お墓のことで家族に負担をかけないで済むなどの心情的な問題も解決できます。安心で格安な施設を行政の責務として、早めに進めていただきたいと思っています。

◆◆◆◆◆  
通信所跡地利用を問う  
◆◆◆◆◆

**質** 昨年、返還跡地利用地主会の総会が6月に開催されました。来賓の副村長は「袋地を役場としても検討し、僕らは地権者と話合いたいと思う。」と話されていました。同席されていた企画課長どのように思われましたか。

**答** 企画課長 山城雅人

総合事務局の跡地利用対策課から助言を受け事業整備を進めていければと考えているところです。

**質** 平成24年作成「恩納村第5次基本計画」で、まとまった住宅地の確保が遅れています。住宅地が乏しい中、村主導で国道58号と勢高排水路間において、恩納区から南恩納区にかけての袋地に数本の道路を設けることで、袋地が解消できます。お考えをお聴かせ下さい。

**答** 村民課長 長浜善巳

地権者と相談しながら、この整備事業を進めてまいりたいと思っています。

◆◆◆◆◆  
又吉 薫 議員  
◆◆◆◆◆



マンネリ化した村・行政組織を改革し、活性化するための行政改革について具体的な解決策を問う。

**質** 村長が出馬を決意した理由の一つに行政当局がマンネリ化している点があります。村民一人一人の福祉の担い手である役場当局がマンネリ化しているとしたら憂慮すべき問題で、行政改革を断行し改善すべき重要課題である。村長がみて、村行政がマンネリ化している部分はどこか、

どう解決していくか、具体的な施策を聞きます。

**答** 村民課長 長浜善巳

村政に村民や議員の意見や提言を傾け反映させ村政運営の上で現場や地域に赴き、声を聴く事は重要だと思えます。

**質** 施政方針で、職員研修の実施、県への派遣研修に取り組みとありますが、職員の自己研鑽を促す施策が抜けている。もう一点は、村民目線に立って、職員が能力を最大限に生かす組織体制、職場風土になっているのか、施策を考えているか。

**答** 村民課長 長浜善巳

自己研鑽はもとより、村民サービスが重要だと考えます。村民目線に立って業務を遂行し、能力を發揮する事が望まれる。組織体制についても、人事異動を実施し、適材適所で業務が遂行できるように実施します。

**質** 人事評価制度について、何年度に導入する予定か。公正で透明性を保つことは大切で当然のことであるがどのような方法で公正・透明性を確保するか、また、人事管理面でどう活用するか。

**答** 総務課長 當山欽也

人事評価制度の導入について、現在のところお示し出来ませんが、評価基準や評価方法の明示、自己申告、面談、評価結果の開示等により、公正・透明性の確保をしたい。それを人材育成、人事管理に活用出来ればと考えます。

組織（各課・部署）の再編・拡充による組織の活性化と住民サービスの向上。

**質** 商工観光課の職務としてイベントの開催が多く感じます。そこで、商工観光課の組織を拡充し、村民が望む新たな職務を生み出し、村民サービスの向上に資する時期にあると考えます。村内企業の求人情報を収集し、村民の就労を支援する雇用労働行政を担当、地域振興のプロデュサーの役割を担うべきでないか、それから、起業をプロデュースする立場を村も担っていかねければならない。今後、恩納村が自らの力で企画立案・政策立案

公共施設や村有財産（固定資産等）の総合的かつ計画的な管理運用について

**質** 村長は、恩納村は施設の整備は進んだが活用出来ていない施設が多いと言っています。「最適な配置」に問題があり、統廃合も視野に入れ検討すべきと考えます。具体的事例と改善策を聞きます。

**答** 村民課長 長浜善巳

博物館や体験学習センターが活用されていない。博物館は情報センターと連携、体験学習センターは観光協会と連携し、施設運営の強化を図りたい。